

料金別納郵便



工房設立10周年 陶工房 旂 展^{ゆう}
令和3年12月20日(月)~26日(日) 会期中無休
開廊時間：午前11時~午後7時(最終日26日は午後5時まで)
作家在廊日：会期中、全日在廊予定

陶工房 旂は、平成23年に金重有邦門下の三人で開設した工房です。
古陶に倣いつつ、現代の生活と調和する焼物を作っていけたらと思います。
皆様の食を楽しむ一助となれば幸いです。

陶工房 旂：金重周作(昭和53年生)・金重陽作(昭和55年生)・齋藤 理(昭和47年生)

令和辛丑年の弊廊のトリを飾るのは、備前焼の陶工房 旂(旧・遊工房)の皆さんです。早いもので、今年で工房設立10周年になるそうで、誠におめでたく、ここまで歩んでこられたご努力に心より敬意を表します。

私が初めて三人にお目にかかったのは、林屋晴三先生が大徳寺で釜をかけられた茶席の水屋でした。茶の湯の研鑽を積み、隅々まで心配りの出来る三人の立ち居振る舞いに驚いたことが昨日の様に思い出されます。その飾らず、心豊かなお人柄が、皆様から好かれる所以でしょう。

そして、三人仲睦まじく、使い心地抜群の食のうつわを中心にひたむきに制作され、一定の評価を頂くようになりました。新宿の京懐石 柿傳でも、我が家でも、彼らの作品はエースで四番打者の如き大活躍。柿傳茶室の露地にある薄造りの手水鉢も彼らの作品です。

さて、弊廊で四回目となる本展では、クリスマスプレゼントに好適な最新作の食のうつわや、昨今ますます茶味を増した茶碗や花入など茶陶も発表致します。年の瀬のお忙しい時期のご案内で恐縮ですが、ご清覧頂き、若き陶工達にご指導を頂ければ嬉しいです。 店主 安田尚史

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com
https://www.kakiden.com/gallery/



コロナ禍の影響で、会期と作家在廊日等の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

